



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 3.0 サポートマト リックス

摘要

このサポートマトリックスでは、HPE OneView をインストールおよび使用するための、ハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェアの各要件を示します。

部品番号: 5200-1727a
2016 年 10 月
第 1 版

© Copyright 2014–2016, Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の商標です。

保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。

目次

1 アプライアンスの要件	4
1.1 アプライアンス VM とホストの要件.....	4
1.2 仮想マシンを展開する場所.....	5
1.2.1 DL ベースのハイパーバイザー環境での展開.....	5
1.2.2 BladeSystem ハイパーバイザー環境での展開.....	6
1.2.3 高可用性のためのプランニング.....	6
1.3 ファームウェア要件.....	6
1.3.1 HPE Service Pack for ProLiant (SPP).....	6
1.3.2 管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件.....	7
1.4 サポートされる Web ブラウザーとバージョン.....	8
1.5 画面解像度.....	8
2 サポートされるハードウェア	9
2.1 管理対象の HPE ProLiant BL および WS サーバードレード.....	9
2.2 管理対象の HPE ProLiant DL ラックマウント型サーバー.....	9
2.3 サーバードウェアの管理機能.....	10
2.4 監視対象サーバードウェア.....	11
2.5 サーバードウェア監視機能.....	11
2.6 HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー.....	12
2.7 管理対象ストレージレイ.....	12
2.8 管理対象 SAN スイッチ.....	13
2.9 ネットワークの LOM カードおよびメザニンカード.....	14
2.9.1 サポート対象のメザニンカードと LOM カード.....	14
2.10 インターコネクトモジュール.....	15
2.10.1 インターコネクトの要件.....	15
2.11 スイッチ.....	16
2.12 アダプターおよび HPE Virtual Connect の構成.....	17
2.13 ラックと電源.....	17
2.14 サポートされるストレージコントローラ.....	17
3 構成の上限	19
3.1 割り当てられる ID.....	19
3.2 アプライアンス.....	19
3.3 接続.....	19
3.4 エンクロージャー.....	20
3.5 ネットワークの制限.....	20
3.6 ネットワーク.....	20
3.7 電源および設備.....	21
3.8 サーバードウェア.....	21
3.9 サーバードプロファイル.....	21
4 サポートと他のリソース	22
4.1 Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	22
4.2 アップデートへのアクセス.....	22
4.3 Web サイト.....	23
4.4 カスタマーセルフリペア.....	23
4.5 ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	23

1 アプライアンスの要件

1.1 アプライアンス VM とホストの要件

HPE OneView は、以下のサポートされるハイパーバイザーホスト上で動作する仮想アプライアンスです。

表 1 サポートされるハイパーバイザーとバージョン

ハイパーバイザー	バージョン
VMware vSphere ESXi	<ul style="list-style-type: none">• 5.5• 5.5 Update 1• 5.5 Update 2• 5.5 Update 3• 6.0• 6.0 Update 1• 6.0 Update 2
Microsoft Hyper-V	<p>Hyper-V は、Hyper-V の役割がインストールされている次の Microsoft Windows プラットフォームでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2012• Windows Server 2012 R2• Windows Hyper-V Server 2012• Windows Hyper-V Server 2012 R2

アプライアンスの仮想マシン (VM) 要件は、以下のように内容が変更されています。

- ProLiant G7-class 以降の CPU。
- 2GHz 以上の仮想 CPU4 個。
- 16GB のメモリ。
- シックプロビジョニングされた 160GB のディスク容量。
仮想ディスクは、手動で拡張が可能で、ファームウェアリポジトリのサイズをデフォルトの 12GB から 100GB に変更可能です (275GB の最小ディスク容量が必要です)。仮想ディスクの拡張は、アプライアンスのインストール中に実施されることをお勧めします。詳細は、インストールまたはアップグレードの手順をご参照ください。
- 管理 LAN への接続。Hewlett Packard Enterprise では、管理用とデータ用に個別のネットワークを使用することを強くお勧めします。
- ハイパーバイザーホストが、以下の最小システム要件を満たしている。
 - 『[Minimum system requirements for installing ESXi/ESX \(1003661\)](#)』、VMware Knowledge Base
 - 『[Review Prerequisites for Installation](#)』 (Hyper-V Server 2012、Hyper-V Server 2012 R2)、Microsoft TechNet
 - 『[Hyper-V をインストールして仮想マシンを作成する](#)』 (Windows Server 2012)、Microsoft Windows Server
- BIOS 設定で、電源管理オプションが以下のように構成されている。
 - パワーレギュレーターをスタティックハイパフォーマンスモードに設定。
 - 電力プロファイルを最大パフォーマンスに設定。

- ネットワークタイムプロトコル (NTP) が適切に構成されている。
仮想アプライアンスの正常な動作には、正確な時刻同期が必要です。仮想アプライアンス上で確実に厳密な時間を取得するためのオプションとして、ネットワークタイムプロトコル (NTP) を利用した次の 2 種類が利用可能です。

ハイパーバイザー上の NTP

ハイパーバイザーホストが NTP を利用するよう、また、HPE OneView が時刻同期にハイパーバイザーホストを利用するよう設定を行います。

HPE OneView の NTP

HPE OneView が 3 種類以上の NTP を使用するように設定を行います。

注記: ハイパーバイザーホストが最低限必要なリソースを確保 (予約または共有) するよう、お客様に設定していただく必要があります。ハイパーバイザーホスト上でリソースを確保する手順については、以下のリンクをご参照ください。

- [メモリおよびプロセッサの設定 \(Microsoft Windows Server\)](#)
- [CPU リソースの割り当てとメモリリソースの割り当て \(VMware vSphere ESX and vCenter Server Documentation Center\)](#)

1.2 仮想マシンを展開する場所

HPE OneView は、「[アプライアンス VM とホストの要件](#)」(4 ページ)の要件を満たす ProLiant ハードウェアに展開できます。HPE OneView が管理または監視するハードウェアには、特定の制限が適用されます。

HPE OneView は、以下のハードウェア環境のハイパーバイザーに展開できます。

- [ラックマウント型 ProLiant DL](#)
- [BladeSystem](#)

HPE OneView を使用して HPE OneView が実行されているハイパーバイザーホストを管理する場合は、両方の環境に制限が適用されます。

- ① **重要:** HPE OneView の仮想アプライアンスは、管理機能専用のハイパーバイザー環境に展開し、本番ハイパーバイザー環境とは別にされることをお勧めします。

1.2.1 DL ベースのハイパーバイザー環境での展開

一般的に、DL ベースのハイパーバイザー構成環境を使用して HPE OneView を展開することは、最も簡単な選択肢です。ベストプラクティスは高可用性 (HA) のハイパーバイザークラスター構成に展開することです。

DL サーバーの単一ハイパーバイザーホストを持つ非 HA 構成では、DL サーバーのハイパーバイザーホストを、管理対象サーバーハードウェアとして HPE OneView に追加する機能はサポートされていません。監視対象モードでホストを追加します。監視対象モードでは、誤って仮想アプライアンスの電源をオフにしてしまうことのないように、HPE OneView からハイパーバイザーホストの電源をオフにしないでください。

HPE OneView の仮想アプライアンスがホスト間で移行できる HA 構成では、上記の制限は依然として適用されますが、VM の移行を利用することによって回避することが可能です。この方法はエラーが起りやすい点に注意してください。仮想アプライアンスは、仮想アプライアンスが動作しているハイパーバイザーホストを検出できないため、未サポートの操作に関してユーザーに警告を出すことができません。

ベストプラクティスは、HPE OneView を使用して、クラスター内の DL ハイパーバイザーホストを監視することです (管理することではありません)。監視対象モードでは、HPE OneView を使用するホストの電源をオフにする前に、アプライアンスがそのホスト上で動作していない

ことを確認します。動作している場合は、HPE OneView アプライアンスを別のクラスタメンバに移行する必要があります。

DL ハイパーバイザーホストが管理対象モードで HPE OneView に追加された場合、さらに以下の制限が適用されます。

- HPE OneView 仮想アプライアンスが現在実行されているハイパーバイザーホストのサーバープロファイルの適用または編集には、そのサーバーのハードウェアの電源をオフにする必要がありますので、できません。
- サーバープロファイルを適用する前に、クラスタ内の別のホストにアプライアンスを移行する必要があります。

1.2.2 BladeSystem ハイパーバイザー環境での展開

BladeSystem 構成では、管理対象エンクロージャーのサーバープロファイル接続管理に関する注意事項に加え、**DL サーバーと同じ制限**が課されます。

Bladesystem の場合、サーバープロファイルは、ブレードサーバーに対するすべてのネットワーク接続をカプセル化し、エンクロージャー内のインターコネクต์モジュールと連携して機能します。

非 HA ハイパーバイザー BladeSystem 環境の単一エンクロージャー上にある ESXi ホストの HPE OneView に HPE OneView を展開するときのベストプラクティスは、エンクロージャーの監視であり、管理することではありません。上記と同じ制限が引き続き適用されます。現在 HPE OneView アプライアンスが動作している VM ホストの電源をオフにしないでください。

単一エンクロージャー環境、またはエンクロージャーが管理対象モードで HPE OneView に追加されたマルチエンクロージャー環境の場合、エンクロージャーは、非 VC インターコネクต์モジュールを含む必要があります。HPE OneView 仮想アプライアンスをサポートするハイパーバイザーホストのストレージおよびネットワーク接続は、これらの非 VC インターコネクต์モジュールを使用する必要があります。サーバープロファイルの操作と電源の操作を実行する場合、その操作を実行している特定のホストで HPE OneView 仮想アプライアンスが実行されないようにしてください。

1.2.3 高可用性のためのプランニング

HPE OneView を高可用性 (HA) 構成で使用するには、ハイパーバイザーのドキュメントを参照し、特定の要件を確認してください。

VMware vSphere ESXi

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/features-high-availability>

Microsoft Hyper-V

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc753787.aspx>

1.3 ファームウェア要件

この項では、HPE OneView で管理する予定のデバイスのファームウェア要件について説明します。

デバイスをアプライアンスに追加してアクティブに管理するには、デバイスが「**管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件**」(7 ページ)の項に示すファームウェアの最小要件を満たしている必要があります。

注記: 監視対象デバイスのファームウェアは、HPE OneView の管理対象外です。

1.3.1 HPE Service Pack for ProLiant (SPP)

ProLiant 用の最新 HPE Service Pack を <http://hpe.com/info/SPP> からダウンロードし、アプライアンスにアップロードします。

1.3.2 管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件

管理する予定のデバイスをアプライアンスに追加する前に、以下のバージョン以降のファームウェアがデバイスに組み込まれていることを確認します。

エンクロージャーとサーバーを管理対象として追加するときに、Onboard Administrator モジュール、インターコネクトモジュール、および iLO モジュールに対してファームウェアベースラインを指定できます。

表 2 デバイスを管理対象として追加するためのファームウェアの最小要件

デバイス	ファームウェアのバージョン
HPE Virtual Connect	3.15
HPE BladeSystem Onboard Administrator	3.00
Gen8 サーバー用 HPE Integrated Lights-Out 4	1.01
Gen9 サーバー用 HPE Integrated Lights-Out 4	2.0
HPE integrated Lights-Out 3	1.20

管理対象デバイスだけが自動的に更新されます。監視対象デバイスは、以下の最小ファームウェアに一致するように、手動でアップグレードする必要があります。

表 3 アクティブな管理、監視、および移行を行うための最小ファームウェア

デバイス	ファームウェアのバージョン
HPE Virtual Connect	4.10
HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.01
すべてが非 Virtual Connect のインターコネクトを搭載した HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.31
Virtual Connect と非 Virtual Connect が混在する HPE BladeSystem Onboard Administrator	4.31
Gen8 サーバー用 HPE Integrated Lights-Out 4	1.30
Gen9 サーバー用 HPE Integrated Lights-Out 4	2.03
HPE integrated Lights-Out 3	1.61
HPE integrated Lights-Out 2	2.13
Gen8 サーバー用 Intelligent Provisioning ¹	Gen 8 AMD システムには 1.61 Gen 8 Intel システムには 1.20
Gen9 サーバー用 Intelligent Provisioning	2.0
HPE SPP (Service Pack for ProLiant)	「HPE Service Pack for ProLiant (SPP)」(6 ページ)を参照してください。
HPE Insight マネジメントエージェント (G6 および G7 サーバーの監視用)	9.20
Emulex コンバージドネットワークアダプター	4.2.401.6 以上

¹ Intel ベースシステムの場合は、以下のとおりです。

- サーバプロファイル経由でファームウェアベースラインを管理する場合は、Intelligent Provisioning バージョン 1.20 以降が必要です。
 - サーバプロファイル経由で BIOS 設定を管理する場合、iLO バージョン 2.0 以降を搭載するサーバには Intelligent Provisioning バージョン 1.20 以降が必要です。
- IP バージョンを確認するには、サーバ上の iLO にアクセスし、[システム情報] を選択して、[ファームウェア] タブをクリックします。最新バージョンの Intelligent Provisioning (IP) ファームウェアは **ダウンロード** できます。

注記: HPE OneView は、アプライアンスにアップロードされた SPP ファームウェアバンドルを使用して、完全管理のために必要な最小バージョンにこれらのデバイスのファームウェアを自動的にアップデートします。

HPE Virtual Connect モジュールのファームウェアに関する注意事項

- それ以前のバージョンの HPE Virtual Connect ファームウェアがインターコネク트에組み込まれている場合は、VCSU (Virtual Connect Support Utility) を使用してファームウェアをバージョン 3.15 以上にアップデートしてから、デバイスをアプライアンスに追加することをお勧めします。
- HPE OneView は、最小ファームウェアバージョンの 4.10 がインストールされた HPE Virtual Connect ファイバーチャネルモジュールを、IPv6 アドレスを使用して管理および構成できます。それ以前のファームウェアバージョンが組み込まれたモジュールをアプライアンスに追加すると、ファームウェアアップデートの対象としてフラグが設定されます。UI で **[論理インターコネク]+[アクション]+[ファームウェアのアップデート]** を使用してインターコネクファームウェアを更新するまで、フラグが設定されたモジュールは非管理の状態に残ります。

1.4 サポートされる Web ブラウザーとバージョン

以下の Web ブラウザーについては、HPE OneView での使用可否をテストし、使用可と確認されています。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 11
Microsoft Internet Explorer バージョン 10 は、Windows Server 2012 でサポートされています。
- Mozilla Firefox バージョン 45.x
- Mozilla Firefox ESR (延長サポート版) バージョン 45.x
- Google Chrome バージョン 50.x

- ① **重要:** Hewlett Packard Enterprise では、サポートされる Web ブラウザーの新規バージョンおよびアップデートのサポートを可能にすべく最大限の努力をいたします。ただし、新しいバージョンが予想どおりに動作しない場合があります。現在のリリースの HPE OneView でのサポートを不可能にする問題が Web ブラウザーにある、または Web ブラウザーのリリース時期と HP OneView でその Web ブラウザーをサポートできる時期との間が空く場合があります。このような場合、当社では、HPE OneView の次回メンテナンスリリースまたはフルリリースにて新しいブラウザバージョンをサポートできるように取り組みます。

テストされていない新しいバージョンの Web ブラウザーに関する問題が発生した場合は、認定サポート担当者にレポートを提出してください。場合によっては、前のバージョンのサポート対象の Web ブラウザーに戻すことが、短期的な解決策となる可能性があります。

1.5 画面解像度

最小解像度:	1024 x 768
推奨解像度:	1280 x 1024 以上

2 サポートされるハードウェア

2.1 管理対象の HPE ProLiant BL および WS サーバースレード

以下のサーバースレードモデルは、管理対象として追加することができます。

表 4 管理対象の HPE ProLiant BL および WS サーバースレード

モデル	G7	Gen8	Gen9
BL420c		✓	
BL460c	✓	✓	✓
BL465c	✓	✓	
BL490c	✓		
BL620c	✓		
BL660c		✓	✓
BL685c	✓		
WS460c		✓	✓

2.2 管理対象の HPE ProLiant DL ラックマウント型サーバー

以下のラックマウント型サーバーモデルは、管理対象として追加することができます。

表 5 管理対象の HPE ProLiant DL ラックマウント型サーバー

モデル	Gen8	Gen9
DL20		✓
DL60		✓
DL80		✓
DL120		✓
DL160	✓	✓
DL180		✓
DL320e	✓	
DL320e v2	✓	
DL360		✓
DL360e	✓	
DL360p	✓	
DL380		✓
DL380e	✓	
DL380p	✓	
DL380z	✓	

表 5 管理対象の HPE ProLiant DL ラックマウント型サーバー (続き)

モデル	Gen8	Gen9
DL385p	✓	
DL560	✓	✓
DL580	✓	✓

2.3 サーバーハードウェアの管理機能

アプライアンスは、管理対象として追加された場合のサーバーハードウェアで以下の機能をサポートします。

機能	サポートされるサーバーハードウェア		
	HPE ProLiant BL G7 ¹	HPE ProLiant BL と WS Gen8 および HPE ProLiant BL と WS Gen9	HPE ProLiant DL Gen8 および HPE ProLiant DL Gen9
サーバーの電源のオン/オフ	✓	✓	✓
インベントリデータの表示	✓	✓	✓
電源、冷却、および利用率の監視 ²	✓	✓	✓
ヘルスおよびアラートの監視	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合 注記: SNMP エージェントは ESXi 5.x および 6.x では使用できません。	✓	✓
iLO のリモートコンソールの起動	✓	✓	✓
iLO Web インターフェイスへの SSO (シングルサインオン)	✓	✓	✓
アプライアンスに追加するときの、ファームウェアのサポートされる最小バージョンへの自動アップグレード (iLO) ³	✓	✓	✓
ラックのビジュアル化および編集	✓	✓	✓
サーバーハードウェアタイプの自動検出	✓	✓	✓
Remote Support ⁴		✓ ⁵	✓
サーバープロファイル機能			
BIOS 設定		✓	✓ ⁶
ファームウェア		✓	✓
ネットワークへの接続	✓	✓	
ブート順序 ⁷	✓	✓	✓ ⁸
ローカルストレージ ⁹		✓	✓ ¹⁰
SAN ストレージ	✓	✓	

- 1 アプライアンスは、幅が倍、密度が倍の一部の ProLiant G7 サーバードモデルに関して、サポート対象外というステータスを報告することがあります。これは、アプライアンスがそのモデルを管理できないことを意味します。
- 2 すべてのサーバーで、電源、冷却、および使用率の監視をサポートしているわけではありません。
- 3 ファームウェアのアップグレードは、SPP がアプライアンスにアップロードされると自動的に行われます。ファームウェアがアップグレードされないと、ハードウェアは非管理状態に移行します。
- 4 少なくとも iLO バージョン 2.1 を必要とします。
- 5 HPE ProLiant WS Gen8 はサポートされていません。
- 6 HPE ProLiant DL580 Gen8 はサポートされていません。
- 7 日付が 8/27/2014 以前の Gen9 BL サーバード ROM の制約のため、ブートモードが UEFI または UEFI 最適化に設定されていると、プライマリブートデバイスを設定することができません。ブート順序の管理が選択されている場合、この状態を示す警告が、対応するプロファイルに表示されます。
- 8 HPE ProLiant DL580 Gen8 はサポートされていません。
- 9 内蔵アレイコントローラーでのみサポートされます。
- 10 ローカルのストレージでは、次の DL モデルのみサポートいたします。HPE ProLiant DL360p Gen8、DL380p Gen8、DL360 Gen9、DL380 Gen9、DL560 Gen8 および Gen9、DL580 Gen8 および Gen9。

2.4 監視対象サーバーハードウェア

ハードウェアのインベントリおよび監視を行うために、ラックマウント型サーバーおよびブレードサーバーを追加できます。監視対象としてサポートされるサーバーは、以下のとおりです。

- ハーフハイトまたはフルハイトのすべての ProLiant BL G6 (iLO2 を搭載)
- HPE ProLiant BL680c G7
- すべての ProLiant DL G6 (iLO2 を搭載)
- すべての ProLiant DL G7
- すべての ProLiant XL サーバード
- 管理対象としてリストされた、監視が可能なすべてのサーバード

注記: BL220c G7 では監視はサポートされません。

2.5 サーバードハードウェア監視機能

サーバードハードウェアを監視するときに、アプライアンスは以下の機能をサポートします。

機能	監視対象サーバードハードウェア			
	HPE ProLiant BL および DL G6 (iLO 2 搭載)	HPE ProLiant BL および DL G7	HPE ProLiant BL と DL Gen8 および Gen9	HPE ProLiant XL Gen9 注記: Apollo シャーシが検出されません。
サーバードの電源のオン/オフ	✓	✓	✓	✓
電源、冷却、および利用率の監視 ¹		✓	✓	✓
ヘルスおよびアラートの監視	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合 注記: SNMP エージェントは ESXi 5.x および 6.x では使用できません。	SNMP エージェントを手動でインストールおよび構成した場合 注記: SNMP エージェントは ESXi 5.x および 6.x では使用できません。	✓	✓

機能	監視対象サーバーハードウェア			
	HPE ProLiant BL および DL G6 (iLO 2 搭載)	HPE ProLiant BL および DL G7	HPE ProLiant BL と DL Gen8 および Gen9	HPE ProLiant XL Gen9 注記: Apollo シャーシが検出されません。
iLO のリモートコンソールの起動		✓	✓	✓
リモートサポート			✓	
iLO Web インターフェイスへのSSO (シングルサインオン)		✓	✓	✓
サーバーハードウェアタイプの自動検出		✓ ²	✓	

¹ すべてのサーバーで、電源、冷却、および使用率の監視をサポートしているわけではありません。

² ProLiant DL G7 サーバーには、サーバーハードウェアタイプの検出はありません。

2.6 HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー

C7000 エンクロージャーでは、リモートサポートのご利用が可能です。

管理対象または監視対象として追加できるエンクロージャーは、以下のとおりです。

- HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー
- HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー (RoHS 準拠)
- HPE BladeSystem c7000 Platinum エンクロージャー (Platinum)

HPE BladeSystem c7000 エンクロージャーについての詳細は、<http://www.hpe.com/info/blades-ja> をご参照ください。

注記: HPE BladeSystem c3000 エンクロージャーはサポートされていません。

2.7 管理対象ストレージレイ

StorServ 7000、8000、10000、および 20000 ファミリプラットフォームでサポートされているファームウェアバージョンは、以下のとおりです。

- HPE 3PAR
 - 3PAR OS 3.1.3 MU1
 - 3PAR OS 3.1.3 MU2
 - 3PAR OS 3.1.3 MU3
 - 3PAR OS 3.2.1
 - 3PAR OS 3.2.1 MU1
 - 3PAR OS 3.2.1 MU2
 - 3PAR OS 3.2.1 MU3
 - 3PAR OS 3.2.1 MU4
 - 3PAR OS 3.2.1 MU5
 - 3PAR OS 3.2.2 EGA

- 3PAR OS 3.2.2 MU1
- 3PAR OS 3.2.2 MU2
- 3PAR OS 3.2.2 MU3

注記: 3PAR OS のバージョン 3.1.3 および 3.2.1 は、8000 および 20000 プラットフォームでのサポートはありません。

2.8 管理対象 SAN スイッチ

HPE スイッチ

HPE FlexFabric 5700 製品で HPE Comware ソフトウェアのバージョン 7.1.045 リリース 2422.x を搭載したものの。

- HPE FlexFabric 5700-40XG-2QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5700-32XGT-8XG-2QSFP+ スイッチ

HPE FlexFabric 5900 製品で HPE Comware ソフトウェアのバージョン 7.1.045 リリース 2416.x、2417.x、2418.x および 2422.x を搭載したものの。

- HPE FlexFabric 5900CP-48XG-4+ スイッチ
- HPE 5900AF-48XG-4QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5930-32QSFP+ スイッチ
- HPE FlexFabric 5930-2QSFP+2 スロットスイッチ
- HPE FlexFabric 5930 4 スロットスイッチ

HPE FlexFabric 7900 製品で HPE Comware ソフトウェアのバージョン 7.1.045 リリース 2138.x を搭載したものの。

- HPE FlexFabric 7904 スイッチシャーシ
- HPE FlexFabric 7910 スイッチシャーシ

HPE FlexFabric 12000 製品で HPE Comware ソフトウェアのバージョン 7.1.045 リリース 1138.x を搭載したものの。

- HPE FlexFabric 12916 スイッチ AC シャーシ
- HPE FlexFabric 12910 スイッチ AC シャーシ
- HPE FlexFabric 12904 スイッチシャーシ
- HPE FlexFabric 12908 スイッチシャーシ
- HPE FlexFabric 12916 スイッチシャーシ

Brocade

- HPE Network Advisor または Brocade Network Advisor (BNA) ソフトウェア —12.1.4、12.1.5、12.1.6、12.3.1、12.3.3、12.3.4、12.4、12.4.1、12.4.2、12.4.3、12.4.4、14.0、および 14.0.1

Cisco

- Cisco Nexus 5000 ファミリ —6.0、7.0、7.1、7.2
- Cisco Nexus 6000 ファミリ —6.0、7.0、7.1、7.2
- Cisco MDS ファミリ —6.2

2.9 ネットワークの LOM カードおよびメザニンカード

次のアダプターがサポートされています。アダプターが以下のリストにない場合は、**非管理サポート**です。非管理サポートとは、そのアダプターはサーバーに搭載したままで動作できるが、HPE OneView によって管理されないことを意味します。そのアダプターは、モデルと接続先（たとえば、インターコネクトモジュール）によっては、引き続き使用できる可能性があります。アプライアンスは、アプライアンス UI の **[サーバーハードウェア]** または **[サーバーハードウェアタイプ]** 画面で、アダプターの存在を報告します。

注記: ファームウェアバンドルが指定されており、それに管理対象外アダプター用のアップデートコンポーネントが含まれている場合は、サーバー内の管理対象外アダプターでサーバープロファイルで管理されるものに対し、ファームウェアがアップデートされる場合があります。

2.9.1 サポート対象のメザニンカードと LOM カード

サポート対象のメザニンカードと LOM カードのリストは、以下のとおりです。

FlexFabric アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534M アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554M アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630M アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650M アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 554FLB アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 650FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb デュアルポート NC551i コンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb デュアルポート NC553i コンバージドネットワークアダプター

Ethernet および Flex-10 Ethernet アダプター

- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 530M アダプター
- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 552M アダプター
- HPE Flex-10 10Gb 2 ポート 530FLB アダプター
- HPE NC532m デュアルポート Flex-10 10GbE マルチファンクション BL-c アダプター
- HPE NC542m デュアルポート Flex-10 10GbE BL-c アダプター
- HPE NC550m 10Gb デュアルポート PCIe x8 Flex-10 アダプター
- HPE NC552m 10Gb 2 ポート Flex-10 Ethernet アダプター
- HPE NC553m 10Gb デュアルポート FlexFabric アダプター
- HPE NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター

ファイバーチャネルアダプター

- HPE QMH2572 8GB ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- Emulex LPe1205-HPE 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター

2.10 インターコネクトモジュール

表 6 サポートされるインターコネクトモジュール

デバイス	フルサポート	監視対象 ¹	非管理サポート ²
HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュール	✓		
HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポートモジュール	✓		
HPE Virtual Connect Flex-10 10Gb Ethernet モジュール	✓		
HPE Virtual Connect Flex-10/10D モジュール	✓		
HPE Virtual Connect 8Gb 20 ポートファイバーチャネルモジュール	✓		
HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュール	✓		
HPE Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュール	✓		
HPE BladeSystem 向け Cisco Fabric Extender ³	✓ ⁴	✓	
その他の HPE および他社製インターコネクトモジュールすべて			✓

¹ 基本的な電源およびヘルスの監視に使用できます

² 非管理サポートとは、そのデバイスはエンクロージャーに搭載したままで動作できるが、HPE OneViewによって管理されないことを意味します。

³ Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender for HPE と呼ばれます。

⁴ 個別の HPE OneView B22HP FEX Management ライセンスが必要です。

2.10.1 インターコネクトの要件

すべてのインターコネクトモジュールに対する要件

- Virtual Connect インターコネクトモジュールは、4.10 以降である必要があります。詳しくは、「[管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件](#)」(7 ページ)を参照してください。
- 水平方向のペアとなるインターコネクトモジュール（たとえば、エンクロージャーのベイ 1 とベイ 2）は、同じモデルである必要があります。ペアとなるベイを未装着にすることもできませんが、水平方向の冗長性が失われます。

注記: インターコネクトのリモートサポートはご利用いただけません。

HPE Virtual Connect 8Gb 20 ポートファイバーチャネルモジュールおよび HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュールに対する要件

- インターコネクトモジュールは、ファブリック接続用のみとする必要があります。
- インターコネクトのファームウェアバージョンは、「[管理対象および監視対象デバイスのファームウェアの最小要件](#)」(7 ページ)に記載されているファームウェアバージョン以上である必要があります。
- インターコネクトモジュールをベイ 1 または 2 に配置することはできません。

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールに対する要件

- インターコネクトモジュールのエンクロージャー内に 10 個のファンが必要です。
- 1つのエンクロージャー内に 6 個を超える HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールを挿入しないでください。
- 4x10G 操作用に構成されている場合、QSFP+ ポートをリモート側の 4 つの SFP+ ポートに多重化するために、付属の分岐ケーブルで接続可能なモジュールを取り付ける必要があります。
- HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュールは、第 1 世代の HPE BladeSystem c7000 エンクロージャーではサポートされません。

FCoE は、以下のインターコネクトおよび対応するポート上でサポートされます。

- HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポート、ポート X1-X4 のみ
- HPE Virtual Connect Flex-10/10D Ethernet モジュール、ポート X1-X10
- HPE Virtual Connect FlexFabric 20/40 F8 モジュール、ポート Q1-Q4、X1-X

2.11 スイッチ

以下のスイッチが監視対象です。監視することは、そのスイッチが電力とヘルスの基本的な監視に使用できることを意味します。

スイッチタイプ	最小サポート対象バージョン	最小推奨バージョン
Cisco Nexus 5548P スイッチ	NX-OS 5.1(3)N2(1c)	NX-OS 5.1(3)N2(1c)
Cisco Nexus 5548UP スイッチ	NX-OS 5.2(1)N1(4)	NX-OS 5.2(1)N1(9)
Cisco Nexus 5596UP スイッチ	NX-OS 6.0(2)N2(4)	NX-OS 6.0(2)N2(7)
Cisco Nexus 5596T スイッチ	NX-OS 7.0(1)N1(1)	NX-OS 7.0(7)N1(1)
Cisco Nexus 5672UP スイッチ	NX-OS 7.0(8)N1(1)	NX-OS 7.0(8)N1(1)
Cisco Nexus 56128P スイッチ	NX-OS 7.0(8)N1(1)	NX-OS 7.0(8)N1(1)
Cisco Nexus 6001P スイッチ	NX-OS 5.1(3)N2(1c)	NX-OS 5.1(3)N2(1c)
Cisco Nexus 6001T スイッチ	NX-OS 5.2(1)N1(4)	NX-OS 5.2(1)N1(4)
Cisco Nexus 6004P スイッチ	NX-OS 6.0(2)N2(4)	NX-OS 6.0(2)N2(4)
	NX-OS 7.0(1)N1(1)	NX-OS 7.0(7)N1(1)

2.12 アダプターおよび HPE Virtual Connect の構成

HPE OneView は、以下のアダプターおよび HPE Virtual Connect モジュールの構成を経由するネットワーク接続をサポートしています。

表 7 サポートされた FLB/LOM/メザニンアダプター構成

構成	FlexFabric アダプター	Flex-10 アダプター	Ethernet アダプター ¹
HPE Virtual Connect FlexFabric 20/40 F8 モジュールで、VC f/w 4.50 および HPE FlexFabric 20Gb 2ポート 650FLB/M アダプターまたは HPE FlexFabric 10GB 2ポート 556FLB アダプター搭載のもの	物理ポートごとに 8 つの FlexNIC または 7 つの FlexNIC と 1 つの FlexHBA ²	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)	接続なし
HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24 ポートモジュール HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8 モジュール	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC または 3 つの FlexNIC と 1 つの FlexHBA ²	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)	
HPE Virtual Connect Flex-10/10Dモジュール HPE Virtual Connect Flex-10 10Gbモジュール	物理ポートごとに 4 つの FlexNIC (Ethernet のみ)		
Ethernet インターコネクタ (外部マネージャー)	2x 物理ポート ¹		

¹ HPE OneView では管理されません。HPE OneView は、物理ポートを未構成のデフォルトの状態に維持します。エンクロージャーの隣接 IO ベイで標準の Ethernet インターコネクタまたは Ethernet バススルーモジュールを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。

² 4 つの FlexNIC の内の 1 つは、FCoE (Fibre Channel over Ethernet) を使用してストレージ機能を構成できます。Ethernet は 4 つすべての FlexNIC で使用できます。HPE OneView は、デバイスタイプ、ネットワークまたは VLAN の設定、帯域幅の設定など、サーバプロファイル接続を使用して FlexNIC ネットワーク接続を構成します。

2.13 ラックと電源

- HPE インテリジェントパワーディストリビューションユニット (ファームウェアバージョン 1.4 以降)
- HPE インテリジェントシリーズラック
- ソフトウェアおよびファームウェア用 HPE Location Discovery Service (位置情報検出機能) (HPE ProLiant DL Gen8 ラックマウント型サーバーおよび HPE BladeSystem c7000 G3 エンクロージャーのみ)

2.14 サポートされるストレージコントローラ

サーバプロファイルのローカルストレージを構成する際、以下の内臓コントローラがサポートされます。

- Smart アレイ P220i
- Smart アレイ P230i
- Smart アレイ P244br
- Smart アレイ P246br
- Smart アレイ P420i
- Smart アレイ P440ar
- Smart アレイ P830i

- Smart アレイ P840ar
- Dynamic Smart アレイ B140i
- Dynamic Smart アレイ B320i
- Smart HBA H244br
- Smart HBA H240ar

3 構成の上限

3.1 割り当てられる ID

表 8 割り当てられる ID の構成の上限

リソース	上限
MAC 範囲	66,240
WWN 範囲	15,360
仮想 SN (シリアル番号) 範囲	1,280

3.2 アプライアンス

表 9 アプライアンスの構成の上限

リソース	上限
ファームウェアバンドルの最大ディスク容量	12GB (約 3 バンドル)
同時使用ユーザー数	5

3.3 接続

表 10 接続の構成の上限

リソース	上限
物理ポートごとの接続数 (FlexNIC の上限)	8
サーバー 1 台当たりの物理ポート数 ハーフハイトサーバーブレード	6 ポート (デュアルポート LOM カードおよび 2 つのメザニンカード)
フルハイトサーバーブレード	10 ポート (2 つのデュアルポート LOM カードおよび 3 つのメザニンカード)
サーバー 1 台当たりの接続数 (平均)	24
予約済み接続数 ¹	4,800
展開済み接続数 ²	61,440
接続の総数	66,240

¹ すでに作成されているが、特定のインターコネクトダウンリンクに関連付けられていない接続。

² 物理インターコネクトポート、および場合によってはサブポート (サーバーの FlexNIC) に割り当てられた接続数。

3.4 エンクロージャー

表 11 エンクロージャーの構成の上限

リソース	上限
エンクロージャー	40
エンクロージャーグループ	40
論理エンクロージャー	40
すべてのエンクロージャーにあるインターコネクト	240

3.5 ネットワークの制限

表 12 ネットワーク構成上の上限値

リソース	上限
ネットワークセットの総数	1,000
ネットワークセット当たりのタグ付き Ethernet ネットワーク数	162
論理インターコネクトグループ	240
論理インターコネクト	240
論理インターコネクト当たりのアップリンクセット数	144

3.6 ネットワーク

表 13 ネットワークの構成の上限

リソース	上限
定義された、タグ付き、タグなし、トンネル、および FCoE ネットワーク数	8,192
論理インターコネクト当たりのプロビジョニング済み Ethernet ネットワーク数	1,000
定義可能なネイティブ FC ネットワーク数 (FCoE/FC ブリッジネットワークを含む)	255
インターコネクト 1 つ当たりのファイバーチャネル ネットワーク数	8
論理インターコネクトまたはエンクロージャー 1 つ当たりのファイバーチャネルネットワーク数	48
論理インターコネクト当たり最大 5 つの SNMP トラップあて先をファイバーチャネルとして指定することができます。	25
論理インターコネクトまたはエンクロージャー 1 つ当たりのネットワーク数	1,048
物理ダウンリンク 1 つ当たりのネットワーク数	162
アップリンクセット当たりのネットワーク数	1,000
アップリンクセットまたはインターコネクト当たりの FCoE ネットワーク数	32
論理インターコネクトごとのプライベートネットワーク最大数	128

3.7 電源および設備

表 14 電源および設備の構成の上限

リソース	上限
データセンター	640
ラック	640
PDD（電力供給デバイス）	82,016
非管理デバイス	26,880
iPDU	2,560
iPDU コンポーネント（負荷セグメントとコンセント）	76,800
分岐回路	2,560
ブレーカーパネル	64
給電線	32

3.8 サーバーハードウェア

表 15 サーバーの構成の上限

リソース	上限
エンクロージャー 1 つ当たりのサーバー数	16
サーバーの総数 ¹	640

¹ サポートされる HPE ProLiant BL サーバーブレード、HPE ProLiant DL ラックマウント型サーバー、および XL サーバーを任意に組み合わせた台数を意味します。

3.9 サーバープロファイル

表 16 サーバープロファイルの構成の上限

リソース	上限
未割り当てのサーバープロファイル	100
割り当て済みのサーバープロファイル	640
サーバープロファイルの総数	740

4 サポートと他のリソース

次のトピックでは、HPE サポートセンターに関する情報と、HPE OneView を使用する上で役立つその他のリソースおよびドキュメントを紹介します。

4.1 Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。
<http://www.hpe.com/assistance> (英語)
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。
<http://www.hpe.com/support/hpesc> (英語)

ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号 (該当する場合)
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

4.2 アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
 - 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
 - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
 - Software Depot の Web サイト：
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
 - お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
- ① **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。

4.3 Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs (英語)
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpesc (英語)
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	http://www.hpe.com/assistance
OneView のドキュメント	http://www.hpe.com/info/oneview/docs (英語)
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Software Depot	http://www.hpe.com/support/softwaredepot
カスタマーセルフリペア	http://www.hpe.com/support/selfrepair
HPE OneView FAQ ドキュメントリモートサポート	Remote support doc (英語)
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス	http://www.hpe.com/storage/spock (英語)
HPE Virtual Connect のユーザーガイド HPE Virtual Connect のコマンドラインリファレンス	http://www.hpe.com/info/virtualconnect (英語)
HPE 3PAR StoreServ Storage	http://www.hpe.com/jp/storage
HPE Integrated Lights-Out	http://www.hpe.com/jp/servers/ilo
HPE BladeSystem エンクロージャー	http://www.hpe.com/servers/bladeSystem (英語)
HPE ProLiant サーバーハードウェアの Web サイト	<ul style="list-style-type: none">一般的な情報：http://www.hpe.com/info/servers-jaBL シリーズサーバーブレード：http://www.hpe.com/info/blades-jaDL シリーズラックマウント型サーバー：http://www.hpe.com/servers/dl-ja
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	http://www.hpe.com/storage/whitepapers

4.4 カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

CSR について詳しくは、お近くのサービスプロバイダーにお問い合わせになるか、次の CSR の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

4.5 ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。フィードバックの送信時には、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙にある改版日をご記載ください。オンラインヘルプの内容については、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、および法的な注意事項ページにある改版日をご記載ください。